

文部科学本省における契約状況の推移(平成18~20年度)

○ 20年度実績においては、19年度実績に比較して「競争性のない随意契約」の契約全体に占める割合が、金額ベースでは1ポイント、件数ベースでは2ポイント減少している。18年度実績に比較しては、金額ベースでは9ポイント、件数ベースでは9ポイント減少している。

【18年度実績】

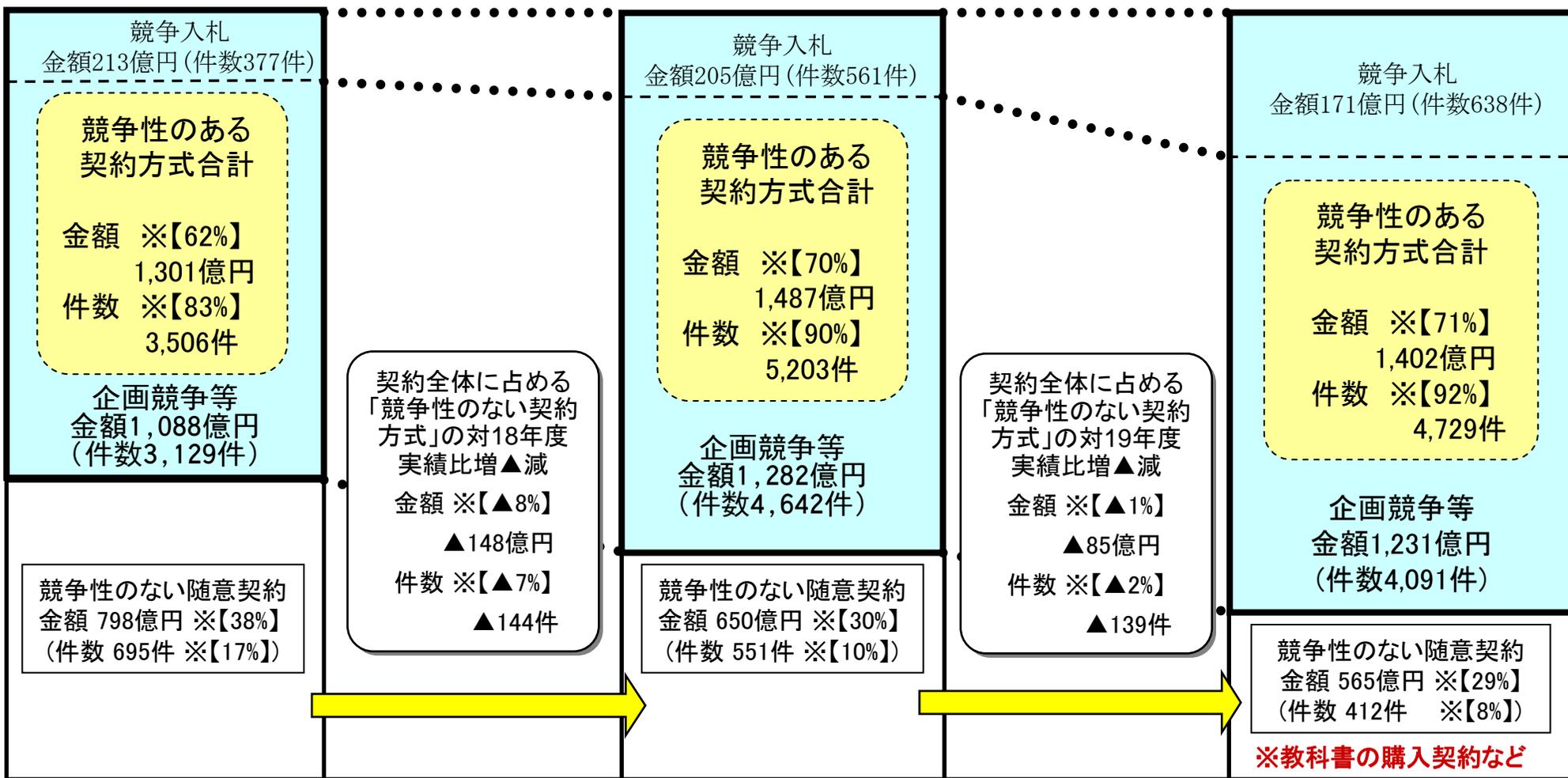
2,099億円 (4,201件)

【19年度実績】2,137億円 (5,754件)

競争性のある契約 5,203件

【20年度実績】1,967億円 (5,141件)

競争性のある契約 4,729件
うち、一者応札・一者応募 517件(10.9%)



(注1) 図中の「企画競争等」は不落随意契約を除いた数字である。

(注2) 図中の※【 】書は、当該年度における「競争性のある契約方式」又は「競争性のない随意契約」の契約全体に占める割合である。

文部科学本省の平成20年度「競争性のある契約」のうち、
「一者応札・一者応募」であった契約の見直し状況

平成20年度契約実績 : 5,141件 約1,967億円
 平成20年度「競争性のある契約」 : 4,729件 約1,402億円
 うち「一者応札・一者応募」となった契約 : 517件(10.9%)
 約320億円(22.8%)

517件について、点検・見直しを実施

点検・見直し内容	件数	金額 (百万円)
契約方式を変更せず、条件等の見直し	442 (85.5%)	26,679 (83.3%)
仕様書の変更 (特定の者の機種に限定しないなど)	30	5,848
参加条件の変更 (特殊な資格や過度な実績を条件としないなど)	19	305
公告期間の見直し (公告期間を10日間から20日間へ延長など)	379	21,612
その他 (ホームページにおける調達情報の提供など)	112	13,789
契約方式の見直し (企画競争から一般競争入札へ移行するなど)	48 (9.3%)	4,472 (14.0%)
その他の見直し (事業の必要性、事業規模の見直しなど)	16 (3.1%)	768 (2.4%)
改善点なし	11 (2.1%)	81 (0.3%)
合計	517 (100%)	32,000 (100%)

※点検・見直し内容には、平成21年度にすでに講じたものを含む。

※「平成20年度限りのもの」については、今後同様の事業を実施することを想定して点検・見直しを実施。

所管独立行政法人における契約状況の推移(平成19~20年度)

- 20年度実績においては、19年度実績に比較して「競争性のない随意契約」の契約全体に占める割合が、金額ベースでは19.2ポイント、件数ベースでは36.4ポイント減少している。
- 新たな随意契約見直し計画において、平成20年度実績に比較して「競争性のない随意契約」の契約全体に占める割合が、金額ベースでは14.4%、件数ベースでは13.7%減少する結果となった。

【19年度実績】30,816件(約5,641.7億円)

競争性のある契約 11,427件

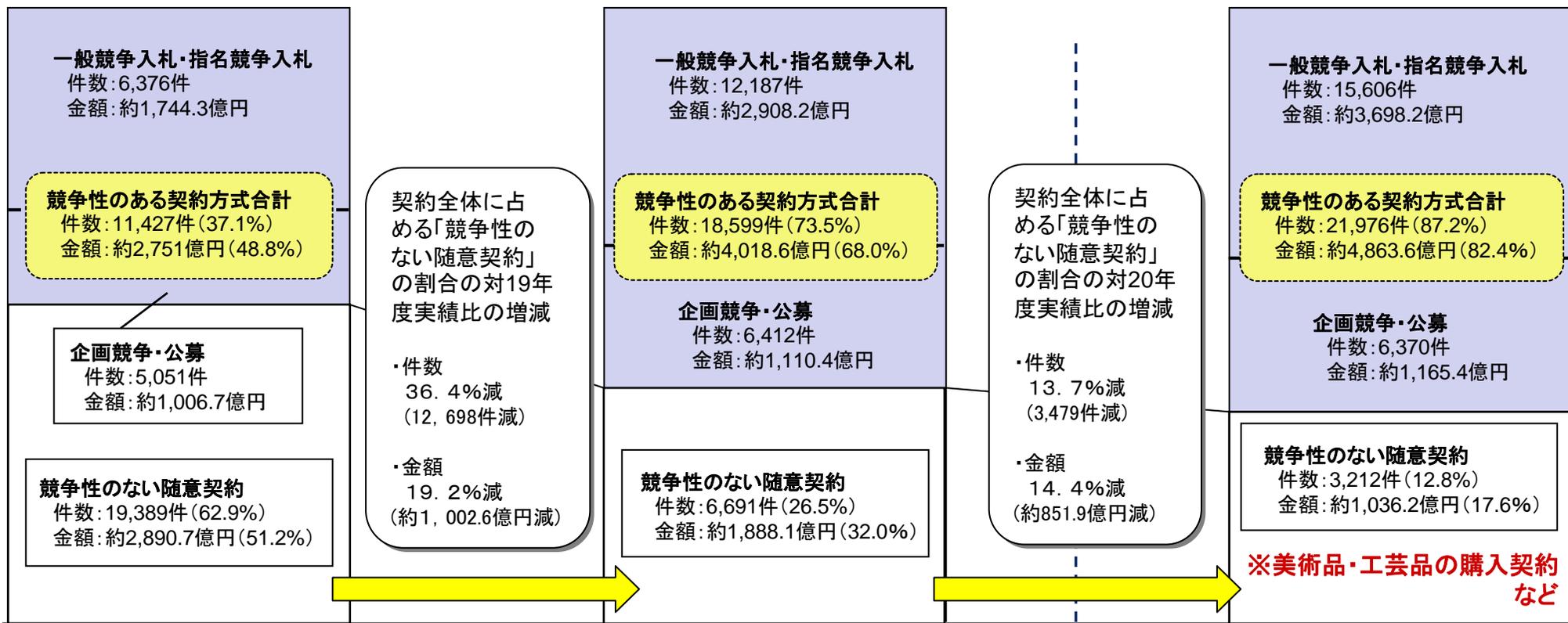
【20年度実績】25,290件(約5,906.7億円)

競争性のある契約 18,599件
うち、一者応札・一者応募 8,563件(46.0%)

【新たな見直し計画】

25,188件(約5,899.8億円)

※見直し結果を20年度実績に当てはめたもの



※新たな見直し計画における「競争性のある契約方式」には、契約監視委員会による点検前に自ら移行したものを含む。

※「平成20年度限りのもの」は、新たな見直し計画では「競争性のある契約方式」に含む。

※20年度実績には、点検・見直しの対象外(廃止のため)の国立国語研究所、メディア教育開発センターを含む。

所管独立行政法人の平成20年度「競争性のある契約」のうち、 「一者応札・一者応募」であった契約の見直し状況

平成20年度契約実績	: 25,290件	約5,907億円
平成20年度「競争性のある契約」	: 18,599件	約4,019億円
うち「一者応札・一者応募」となった契約	: 8,563件 (46.0%)	約2,224億円 (55.3%)

8,563件について、点検・見直しを実施

見直し方法等	件数	金額 (百万円)
契約方式を変更せず、条件等の見直し	5,021 (58.7%)	92,298 (41.5%)
仕様書の変更 (特定の者の機種に限定しないなど)	2,810	61,175
参加条件の変更 (特殊な資格や過度な実績を条件としないなど)	746	6,781
公告期間の見直し (公告期間を10日間から20日間へ延長など)	2,846	29,274
その他 (ホームページにおける調達情報の提供など)	2,812	62,896
契約方式の見直し (企画競争から一般競争入札へ移行するなど)	409 (4.8%)	6,194 (2.8%)
その他の見直し (事業の必要性、事業規模の見直しなど)	386 (4.5%)	8,520 (3.8%)
指摘事項なし (すでに自ら改善策を講じたものなど)	2,747 (32.0%)	115,388 (51.8%)
合 計	8,563 (100%)	222,400 (100%)

※点検・見直し内容には、平成21年度にすでに講じたものを含む。

※「平成20年度限りのもの」については、今後同様の事業を実施することを想定して点検・見直しを実施。

競争性のない随意契約

(平成20年度の主なもの)

《文部科学本省》

全契約5,141件のうち、競争性のない随意契約は412件、565億円
うち、下記合計 134件(32.5%)、405億円(71.7%)

●教科書の購入契約

・平成20年度前期用教科用図書(一般図書)など

91件(22.0%)
38,431百万円(67.9%)

●重要文化財の購入等

・絵画 重要文化財 紙本著色歓喜天靈験記など

25件(6.1%)
1,854百万円(3.2%)

●排他的権利に基づく契約

・事務用電子計算機システム用の既存プログラムのシステム改修など

18件(4.4%)
250百万円(0.4%)

《所管独立行政法人》

全契約25,290件のうち、競争性のない随意契約は6,691件、1,888億円
うち、下記合計 614件(9.1%)、229億円(12.1%)

●不動産等の賃貸借契約(当該契約に付随する契約を含む。)

・高等専門学校敷地賃貸料など

420件(6.3%)
17,718百万円(9.4%)

●美術品、工芸品等の購入契約

・洋画 モーリス・ルイス作「神酒」など

100件(1.5%)
1,781百万円(0.9%)

●排他的権利に基づく契約

・事務用電子計算機システム用の既存プログラムのシステム改修など

94件(1.4%)
3,407百万円(1.8%)